



バイアグラで男性器ばかり元気をつけてよいのでしょうか? (神緑会学術講演会)

山崎, 高明[講演]

(Citation)

神戸大学医学部神緑会学術誌, 17:51-52

(Issue Date)

2001-08

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/81007690>

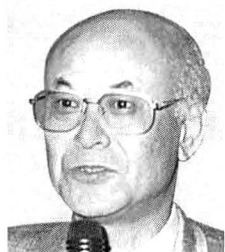
(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81007690>



神緑会学術講演会—

『バイアグラで男性器ばかり元気をつけてよいのでしょうか？』



平成12年 6月18日
於 生田神社会館

「講演要旨」

現在、全国の泌尿器科医やその他のドクターが勃起障害の男性患者に対してバイアグラを処方して、この薬剤の使用量がかなり増えてきています。はたして男性器のみを鼓舞してその目的は達成されるのでしょうか？

性行為は男女両性が対等の立場で快適な関係を築き上げるために行うものである以上、受け入れ側の女性器の状態も整える必要があると思われます。わが国における女性のライフサイクルの変化をみると、1935年の平均寿命は50歳であったものが、わずか60年後の今日では83歳にまで延長し、いかに閉経後30年間もの間パートナーとの良好なコミュニケーションを維持していくかが問題となってきています。女性の性刺激を受けとる神経末端は主としてクリトリスと小陰唇に分布しており、Masters&Johnsonの人間の性反応を充分認識したうえで、男性がいくら金と力で女性を思い通りにしようとしても、その選択権は女性こそが持っていることを理解していただきたい。

わが国の調査では不感症に悩む女性が約25%あるといわれ、これはパートナーとのコミュニケーションの悪さに起因していると思われます。バイアグラを必要とする男性のパートナーには閉経後の女性が多いとすると、彼女達は女性ホルモン欠乏により萎縮性あるいは老人性膣炎に陥っており、性交痛を訴える頻度がかなり高いことを認識していただきたい。実際、当院における女性ホルモン補充療法（HRT）の長期

セックスカウンセラー、セラピストスーパーバイザー
山崎産科婦人科医院院長 山崎高明（29年卒）

例においても、隠れた主訴として性交痛が圧倒的に多く、HRTの効果として性交痛の解消が高頻度に得られ喜ばれています。

これら閉経後婦人の生理的变化に対して、HRTは膣の湿潤性を高めるとともに性感の高揚にも働き、さらに高脂血症や骨粗鬆症の予防にも有効であるため、バイアグラを処方するドクターは男性への治療だけでなく、パートナーの女性に対するHRTにも顧慮していただき、質の高い性関係を築き上げられるようサポートすべきであると思われます。

「略歴」

昭和29年3月：神戸医科大学卒業

31年9月：京都大学大学院（病理学第2講座）入学

34年10月：京都大学より学位授与（医学）

35年6月：神戸医科大学産科婦人科学講座助手

37年9月：同講師

37年9月：兵庫県がんセンター初代婦人科医長

40年8月：山崎産科婦人科医院院長

62年4月：神戸大学医療技術短期大学部非常勤講師（予防管理医学）

平成7年から11年：神戸大学医学部保健学科非常勤講師（予防管理医学）

「学会活動等」

平成5年9月：第13回日本性科学学会会長

7年6月：近畿産科婦人科学会功労会員

9年12月：日本性科学会認定、セックス

カウンセラー，セラピスト
スーパーバイザーライセンス
取得

11年4月：日本母性保護産婦人科医会特別
会員